

第1学年 国語科学習指導案

令和2年12月2日水曜日 第6校時

四万十市立具同小学校

1年2組 児童25名

指導者 亀井 栞里

学習指導要領において

○指導事項

【思考力・判断力・表現力等 C 読むこと】

(1) ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

(1) ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

【知識及び技能】

(2) 情報の扱い方に関する事項

ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

○言語活動

(2) ウ 学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。

1 単元名

「びっくりのりものスタンド」を作ってしょうかいしよう

学習材「いろいろなふね」

2 単元について

○単元観

本単元では、重点指導事項として学習指導要領C(1)ウ「文章の中の重要な言葉や文を考えて選び出すこと。」を取り上げ指導する。説明文単元の中の「情報活用」の系統として位置付けられ、説明文を読んで興味関心を持ったことを、本や資料などで調べる学習を取り入れ、目的や課題に応じて情報を活用することを目指している。そこで、本単元では、乗り物について調べて分かったことを「びっくりのりものスタンド」にまとめるという言語活動を設定する。「のりものスタンド」とは、自分の選んだ乗り物の絵の裏に「やく目」「つくり」「できること」をまとめて書いた物である。児童が興味をもった乗り物を調べ観点ごとにまとめるために、書かれている内容の大体を読み取ったり、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりするのに適した言語活動であると考えられる。

本教材は、説明文の基本的な構造の始め・中・終わりの文章構成が明確である。また、特徴的な機能をもった4種類の船を例として取り上げ、「やく目」「つくり」「できること」について説明した文章である。4種類の船の例示が同じ文章構成、同じ文型で説明されており、叙述に即して内容を正確にとらえやすい。そして、役目や装備、構造等が分かりやすい写真が掲載されており、写真と文章を結び付けて読み取りやすくなっている。さらに、乗り物は児童にとって身近な題材であるので、興味や関心をもって学習に取り組めると考えられる。

○児童観

本学級の児童は、1学期の説明的な文章「どうやってみをまもるのかな」で、挿絵と文章を結び付けながら動物の体の特徴を見付けたり、教材文の中の問いと答えに線を引いたりする活動を通して、登場する動物の順序や体の特徴や身の守り方を読み取るなど、文章の中の重要な語や文を考えて選び出す学習をしてきた。ほとんどの児童が問いに対する答えを見付けることができていたが、言葉のまとまりや内容を捉えることができていない児童は答えを見付けることが困難であった。

本や図鑑を読むことに関しては、その本などに書かれている文章を読んだり、写真を見て楽しんだりしている児童が数名いたが、本や図鑑を取り入れた学習は初めてである。児童は、読書に関心をもつ児童が多く、読み聞かせを楽しんだり、図書室への本の借り換えも意欲的に行ったりしている様子が見られる。一方で、ひらがなやカタカナの定着が十分でない児童は、一文字ずつ拾い読みをしたり、文字を間違えて読んだりすることがある。音読の際にも、文章中の言葉をまとまりとして読むことができない児童もいる。

○指導観

一次では、まず乗り物の写真を提示し、その乗り物について知っていることを児童に発言させる。その後、指導者が紹介したい乗り物の図鑑と「のりものスタンド」のモデルを提示して紹介し、自分たちも「のりものスタンド」を作って誰かに紹介したい、乗り物の本を読みたいという意欲を高めさせる。その際、誰にどんなことを紹介したいのか考えさせ、児童が相手意識をもって学習に臨めるようにする。

二次では、まず教材文に出てきた船の順番を確かめ、どのようなことが書かれていたのか感想を書かせる。そして、乗り物の図鑑を読む時間を確保し、紹介したい乗り物を決めさせる。その際、3つの観点が見付けやすい乗り物の資料を精選し、その中から好きな乗り物を選ばせるようにする。その後、4つの船の「やく目」「つくり」「できること」の読み取りと並行して、自分の選んだ乗り物の読み取りを行っていく。その際、読解の観点を明確にさせるために、教科書に観点別に色分けして線を引かせる。読み取りで見つけた文末の言葉「やく目」は「～のための」、「つくり」は「あります」「つんでいます」、「できること」は「～します（できます）」と観点別に色分けしたカードに書かせ、「キーワードカード」とし、自分の乗り物の資料を読む際に読み取りの手掛かりとさせる。二次の学習の際には、観点別に線を引いたところをペアで確かめ合ったり、線を引いた理由を話し合ったりする対話的な学習場面を設定していく。

三次では、作成した「のりものスタンド」を、まずクラスの中で紹介させ、友達への乗り物の紹介を聞いて思ったことなどを交流し合う。その後、一次で児童が紹介したいと考えた相手に紹介させるようにし、単元の振り返りを行う。

3 単元目標

(1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

[知識及び技能] (2) ア

(2) 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

[思考力、判断力、表現力等] (1) ア

(3) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

[思考力、判断力、表現力等] (1) ウ

(4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

[学びに向かう力、人間性等]

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・共通、相違など情報と情報との関係について理解している。 【(2) ア】	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 【C (1) ア】 ・「読むことにおいて」文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【C (1) ウ】	・積極的に共通点や相違点を考えながら、文章の中の重要な語や文を捉え、分かったことをまとめようとしている。

5 指導と評価の計画 (全12時間)

		学習活動	評価			
			知	思	主	評価規準 (評価方法)
第一次	①	○学習の見通しを立てる。 ・身の回りで働いている乗り物の写真を掲示し、その乗り物について知っていることを出させるとともにまだ知らないことがあることに気付かせ課題をもたせる。 ・教師のモデルを見せ、単元のゴールを示す。 ・乗り物の図鑑を見る。				
	②	○教材文を読み、構造や内容の大体を読む。 ・教材文を読んだ感想を書く。 ・紹介したい乗り物を決める。				
	③	○全文を通読し、全体の構成を捉える。 ・選んだ乗り物のページを読む。 ・分からない言葉などを見つけて、意味を知る。				

第二次	④ ⑨ (本時) ⑩	<p>○教材文や並行読書をし、観点ごとに大事な言葉や文を考えて選び出し、ワークシートや「のりものスタンド」にまとめる。</p> <p>4. 4つの船について書かれた文章を読み、それぞれの船にどんなことが書かれていたか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の「やく目」を見付ける。 <p>5. 自分の選んだ乗り物の図鑑を読んで、「やく目」を見付ける。</p> <p>6. 4つの船について書かれた文章を読み、それぞれの船にどんなことが書かれていたか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の「つくり」を見付ける。 <p>7. 自分の選んだ乗り物の図鑑を読んで、「つくり」を見付ける。</p> <p>8. 4つの船について書かれた文章を読み、それぞれの船にどんなことが書かれていたか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の「できること」を見付ける。 <p>9. 自分の選んだ乗り物の図鑑を読んで、「できること」を見付ける。</p> <p>10. 「のりものスタンド」を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の練習をする。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(ワークシート・発言) ・それぞれの船の役目やそのための工夫について、共通点や相違点を考えている。(ワークシート・発言) ・乗りものの役目やその工夫について、大事な言葉や文を考えて選び出している。(資料・発言) ・積極的に共通点や相違点を考えながら、文章の中の重要な語や文を捉え、分かったことをまとめようとしている。(資料・発言)
	⑪ ・ ⑫	<p>11. 調べてまとめたものを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった「のりものスタンド」を用いて紹介し合い、感想を交流する。 <p>12. 単元の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書かれていることを事柄ごとに読み取ってカードにまとめたことを確かめ、できるようになったことや頑張ったことを考えさせる。 				

6 本時の指導 (9 / 12時)

(1) 本時の目標

大事な言葉や文を考えて選び、自分の選んだ乗り物の資料から「できること」を読み取ることができる。【C (1) ウ】

(2) 準備物

・児童の選んだ乗り物の資料 ・ワークシート ・教材文（掲示用）

(3) 学習の展開

		学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 【7分】	見通し	1. 前時までの学習を想起する。 2. 本時の課題を知る。		
		キーワードをつかって「できること」を見つけよう。		
展開 【33分】	解決活動	3. 自分の選んだ乗り物の資料を読む。 4. 「できること」を見付けて、線を引く。 5. ペアで伝え合う。 6. 「できること」を見直す。（個人） 7. 線を引いた所を発表する。 8. まとめをする。	○前時までに読み取ってきた「やく目」「つくり」に対して「できること」を見付けさせる。 ○「できること」が分かるところに線を引かせる。 ○どこに線を引いたのか、どのようなことが書かれているのかを話し合わせる。 ○前時で見つけた「つくり」に対しての「できること」であることを確認する。 ○支援が必要な児童には、2次で作成したキーワードカードを用いて「できること」が見付けられないか考えさせる。 ○線を引いた所とその訳を発表させる。 ○どのようにして「できること」を見つけたのか発表させ、「できること」を見つけるにはどのような言葉や文に着目すると良いかをまとめる。	☒・大事な言葉や文を考えて選び、乗り物の「できること」を読み取っている。 (資料・発言)
終末 【5分】	ふりかえり	9. ふりかえり	○めあてに対する振り返りを書かせ、全体で共有する。	

(4) 板書計画

いんいんなふね

めめめ

キーワードをひかっつ、「いんいん」を思ひかえり。

【ぎよせん】

- ⑧ぎよせんは、さかなをとるためのふねです。
- ⑨このふねは、さかなのむれを見つけるきかいや、あみをつんでいます。
- ⑩見つけたさかなをあみでとります。

【しよぼうてい】

- ⑪しよぼうていは、ふねの火じをけすためのふねです。
- ⑫このふねは、ポンプやホースをつんでいます。
- ⑬火じがあると、水やくすりをかけて、火をけします。

いんいん

いんいん
いんいん

- 一. めあてのかくにん
- 二. しりょうを読む。
- 三. せんをひく。(一人)
- 四. ったえあう。(へア)
- 五. 見なおす。(一人)
- 六. はっぴようする。
- 七. まとめ・ふりかえり

○のりものの「できること」を
見つける。